

4. <sup>モンドール</sup> Mondor 病 Mondor's disease

症状・疫学

30～60歳代の女性に好発し、胸部、上腹部、上肢に径3～10mm幅の皮下索状硬結が出現する（図11.19）。男性では陰茎背側に生じることもある。牽引痛や自発痛を伴うことがある。本態は皮下脂肪組織中で器質化した血栓性静脈炎ないしリンパ管炎である。胸部手術（とくに乳房切除術）や胸部の圧迫、剃毛などが誘因となる。

病理所見

病変部の脈管壁は線維性に肥厚し、内腔は狭窄ないし閉塞している。炎症細胞浸潤はみられない（図11.20）。

治療

通常は数週間で自然消退するため経過観察が基本である。生検後に速やかに消退することもある。

5. 悪性萎縮性丘疹症 malignant atrophic papulosis

同義語：<sup>デゴス</sup> Degos 病 (Degos' disease)

体幹・四肢を中心に淡紅色丘疹が出現して数日～数週で拡大し、中央は白色調に萎縮、その周囲に毛細血管拡張や紅暈を伴う直径1cm前後の特徴的な皮疹を形成する。時間の経過とともに紅色調は消退し白色萎縮を残す。病理組織学的に、ムチンの沈着とリンパ球中心の細胞浸潤を血管周囲に認める。予後不良の疾患であり脳梗塞や穿孔性腹膜炎を数年で生じるとされるが、ほぼ同様の皮疹がSLE、抗リン脂質抗体症候群、全身性強皮症、関節リウマチなどでもみられるため、これらの基礎疾患の有無を精査することが重要である。

6. 血栓性静脈炎 thrombophlebitis ★

同義語：静脈血栓症 (venous thrombosis)

概念

さまざまな原因により静脈（小静脈～深部静脈）に血栓が形成され、周囲に炎症を生じた病態である。深部静脈に生じたものは深部静脈血栓症（deep vein thrombosis: DVT）と呼ばれ、肺血栓塞栓症など重篤な状態を生じうる。本書では、皮膚科領

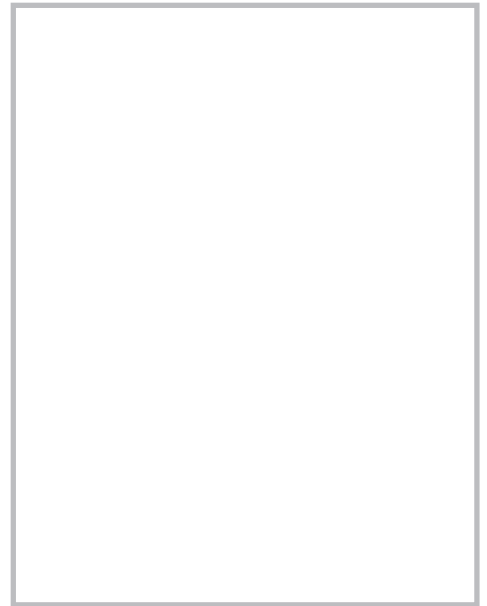


図 11.19 Mondor 病 (Mondor's disease) 皮下索状硬結 (矢印) を認める。

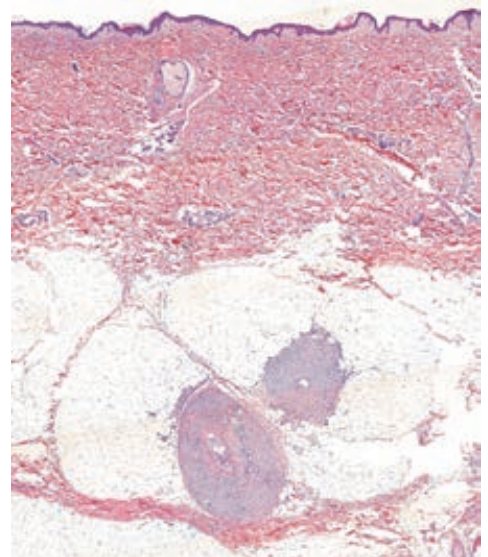


図 11.20 Mondor 病の病理組織像